学校番号	1016

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新詳世界史探究」（帝国書院）						
副教材等	自作プリント　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人の生き方や社会のあり方を考えるには、現在だけ考えてもうまくいかない。どのような経過の積み重ねで現在がこうなっているのか、また過去の類似する状況で人々がどう行動してきたかなどを考えることによって、私たちは現在を理解し未来をつくるための、より賢明な判断や選択ができる。日本にいながら世界史を学ぶ理由は、現在われわれが生きている世界が、どの国や地域も互いに深く結びつき、協力するにしても対立するにしても、その影響が広い範囲に及ぶ、「グローバル化」した世界だからである。また、多様性が尊重される社会で、現在と未来のために歴史を学ぶあなたには、唯一の正しい歴史を知るためでなく、よりよい選択をするための材料の一つとして学んでほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するっとともに，諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	2部3章　西アジアと地中海周辺の歴史的特質	1節 オリエント文明の興亡	a:オリエント文明の特徴を理解している。 b:オリエントの諸国家と東アジアの諸国家を比較して考察し、共通点等を自分の言葉で表現している。 c:オリエント文明の特徴を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		2節 地中海周辺の国家形成	a:古代ギリシアの特徴を理解している。 b:古代ギリシアの社会や国家、文化・思想について考察し、最も大きな特徴を自分なりに評価し、表現している。 c:古代ギリシアの特徴を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		3節 地中海周辺と西アジアの帝国	a:ローマ帝国とペルシアの特徴を理解している。 b:ローマ帝国とペルシアの社会、国家、宗教、文化の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。 c:ローマ帝国とペルシアの特徴を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		4節 ヨーロッパへ広がるキリスト教	a:地中海周辺地域がヨーロッパに与えた影響を理解している。 b:地中海周辺地域がヨーロッパに与えた影響について考察し、自分の言葉で表現している。 c:地中海周辺地域がヨーロッパに与えた影響を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		5節 イスラームの誕生	a:イスラーム世界の特徴を理解している。 b:イスラーム世界の最も大きな特徴について根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。 c:イスラーム世界の特徴を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り

後期	3部1章 ユーラシア大交流圏の成立	1節 イスラーム世界の拡大	a:イスラームの拡大がユーラシア各地にもたらした変化を理解している。 b:イスラームの拡大がユーラシア各地にもたらした変化について考察し、自分の言葉で表現している。 c:イスラームの拡大がユーラシア各地にもたらした変化を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		2節 ヨーロッパ封建社会の展開	a:ヨーロッパ封建社会の変化を理解している。 b:ヨーロッパの封建社会が変化していく要因について考察し、自分の言葉で表現している。 c:ヨーロッパ封建社会の変化を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
	3部2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	3節 スペインとポルトガルの進出	a:スペインとポルトガルの海外進出がヨーロッパや南北アメリカ大陸にもたらした変化を理解している。 b:スペインとポルトガルの海外進出がヨーロッパや南北アメリカにもたらした変化について考察し、自分の言葉で表現している。 c:スペインとポルトガルの海外 sh ン出がヨーロッパや南北アメリカにもたらした変化を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		4節 イスラーム世界の成熟	a:モンゴル帝国後の西アジアや南アジアの諸帝国の統治政策を理解している。 b:西アジアや南アジアの諸帝国の統治政策で、何が重要であったか根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。 c:モンゴル帝国後の西アジアや南アジアの諸帝国の統治政策を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り

	3部3章 主権国家体制の成立と交易の拡大	1節 ルネサンスと宗教改革	a:ルネサンス運動がヨーロッパに与えた影響を理解している。 b:ルネサンス運動は、古代文化の「再生」にとどまったのか、「革新」を生み出したのか根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。 c:ルネサンス運動がヨーロッパに与えた影響を主体的に追究しようとしている	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		2節 主権国家の形成と「17世紀の危機」	a:ヨーロッパの主権国家体制の特徴と課題を理解している。 b:ヨーロッパの主権国家体制の特徴と課題について考察し、自分の言葉で表現している。 c:ヨーロッパの主権国家体制の特徴と課題を主体的に追究しようとしている	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		3節 東欧諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟	a:17～18 世紀のヨーロッパにおいて、思想や文化が政治や経済に与えた影響を理解している。 b:17～18 世紀のヨーロッパにおいて、思想や文化が政治や経済に与えた影響について考察し、自分の言葉で表現している。 c: 17～18 世紀のヨーロッパにおいて、思想や文化が政治や経済に与えた影響を主体的に追究しようとしている	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
		4節 イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	a:イギリスがヨーロッパ諸国間の抗争に勝利した理由を理解している。 b:イギリスがヨーロッパ諸国間の抗争に勝利した最も大きな理由について根拠を示しながら自分なりに評価し、表現している。 c:イギリスがヨーロッパ諸国間の抗争に勝利した理由を主体的に追究しようとしている	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度